

1 事業情報

水道事業評価(令和4年度)

担当課

上下水道総務課

目指すべき方向性	持続	基本政策	6 経営基盤の強化	施策	6-3 経営体制の強化	事業	6-3-2 広域連携の強化
----------	----	------	-----------	----	-------------	----	---------------

2 事業評価の概要

項目	内容
基本政策	将来にわたり安定した水道事業を継続していくために、経営資源を効果的に活用し、健全な財政状況のもと、組織能力・組織体制を強化し、中長期的な視点に立った経営を行います。
事業目的	・水需要の減少、人材の確保などの課題に対し、他の水道事業者と連携し、管理の一体化や施設の共同化などの広域化施策を検討します。 ・水道事故などの危機対応のため、関係団体との連絡体制の構築、情報の共有化を図ります。
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	・「埼玉県水道整備基本構想」に基づき、関係団体と検討部会を開催し、水道広域化について検討します。 ・利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会における連携を図ります。 ・公益社団法人日本水道協会における連携を図ります。 ・埼玉県営水道用水購入団体等連絡協議会における連携を図ります。
期間	令和4年4月 ～ 令和5年3月
予算額 決算額	予算額
	決算額
	執行率
	単位:千円 総事業費 収益的支出 資本的支出 総事業費 収益的支出 資本的支出 単位:%
	事業費計 915 915 0 0 0 0 0%
	工事費 0 0 0 0 0 0
	原材料費 0 0 0 0 0 0
	委託料 0 0 0 0 0 0
	賃借料 0 0 0 0 0 0
その他	915 915 0 0 0 0%
	人件費 3,003 0 0 0%

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	811千円	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	89%		
進捗状況	・令和4年度第1回埼玉県水道広域化全体会議に出席し、情報共有を行いました。 ・公益社団法人日本水道協会は、各支部の活動を通じ、情報共有を行いました。 ・利根川・荒川水系連絡協議会は総会、幹事会を書面にて参加し、情報共有を行いました。			

4 終了時評価(事業の達成度)

達成状況	
事業達成度	選択
事業達成度 C～Eの理由	

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R4	R5	R6
指標名	単位	目標値	実績値				
算出式・根拠							
指標名	単位	目標値	実績値				
算出式・根拠							
指標名	単位	目標値	実績値				
算出式・根拠							

6 視点評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
効率性	投入した事業費に見合った成果を出せたか。	選択	説明責任	顧客やパートナー企業等の意見や苦情に真摯に対応したか。	選択
有効性	業務指標等の向上に貢献したか。	選択	組織学習	事業目的達成のため、組織学習を十分行ったか。	選択

7 総評価

総合評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
選択		選択